

フリーアクセスフロア製品で 「SuMPO EPD」を取得

ニチアス株式会社は、電気ケーブルや通信配線を収納することを目的とするフリーアクセスフロア「ニチアスNOAフロア[®] M300A」「ニチアスオメガフロア[®] M300A」「ニチアスパットフロア[®] M300A」について製品の全ライフサイクルステージにわたる環境情報を定量的に開示する「SuMPO EPD」を取得いたしました。

SuMPO EPDとは

EPD (Environmental Product Declaration) は、各製品の環境情報がISO14040および14044によるLCA (Life cycle assessment) 手法を用いて定量化され、ISO14025に基づく第三者検証に合格した製品環境情報のみ、EPDプログラムのウェブサイト上に有効な情報として開示されるものです。日本ではSuMPO (一般社団法人サステナブル経営推進機構) が「SuMPO EPD」を運営しております。

「SuMPO EPD」は、あらゆる製品・サービスを対象とする環境情報開示の枠組みであり、製品やサービスの種類や形態、製造拠点や仕向け先等に関わらず、世界中の事業者が利用可能です。製品のライフサイクル全体を対象とした評価はもちろん、製品ライフサイクルの上流のみを切り出した評価も可能となっております。また、ISOに準拠した透明性および第三者性の高いプロセスを経て策定される、製品群ごとのLCA算定共通ルール (PCR) に基づき算定・検証・情報開示が行われます。

「SuMPO EPD」を取得した製品は、建築物1棟建設時に要するCO₂排出量 (ホールライフカーボン) の算定ツールなどにも反映され、活用されることが見込まれております。

フリーアクセスフロアのEPD (タイプⅢ) (※1) 取得

今日の温暖化の影響による環境の変化が著しいなか、各国の2050年カーボンニュートラル実現に向けた動きが活発化しております。全世界のCO₂排出量のうち約37%は建設部門から (※2) といわれ、現在、建築業界ではZEHやZEBを推進し「くらすときのCO₂排出量 (オペレーショナルカーボン)」の削減を進めています。一方「建てるときのCO₂排出量 (エンボディドカーボン)」は削減が進んでおらず、現在建築業界全体でホールライフカーボンの見える化に取り組んでいます。このホールライフカーボンを算定するためには、使用する建築資材それぞれのCO₂排出量を明確にする必要があります。

こうした背景から、「ニチアスNOAフロア[®] M300A」 (図1)、「ニチアスオメガフロア[®] M300A」 (図2)、「ニチアスパットフロア[®] M300A」 (図3) について弊社初となる「SuMPO EPD」を取得し、製品の環境影響をCO₂排出量のみならず大気や水域への影響などを多面的に評価し、質の高い環境情報を提供することといたしました。ライフサイクル影響評価結果を表1, 2, 3に示します。

弊社グループでは、2050年カーボンニュートラル実現に向け、自社のCO₂排出削減に加え、サプライチェーンでのCO₂排出削減に取り組んでおります。今回の「SuMPO EPD」取得を機に、弊社建材製品のさらなる環境負荷低減に取り組み、建築業界のCO₂削減に一層貢献してまいります。

【問い合わせ先】 ニチアス (株) 建材事業本部 TEL : (03) 4413-1161

※1: タイプⅢ (ISO 14025): 製品のライフサイクル全体の定量的環境情報

製品やサービスのライフサイクル全体における環境負荷レベルを、LCA (ライフサイクルアセスメント) という算出方式で定量的に算出し、表示した環境ラベルです。このタイプの環境ラベルは、企業に製品やサービスの一生の環境負荷を開示する義務と努力が求められることとなります。算出した数値は独立した検証システムで行われ、信頼性の高い環境ラベルとなります。

※2: global alliance for building and construction (2022)



表1 ライフサイクル影響評価結果（ニチアスNOAフロア® M300A）

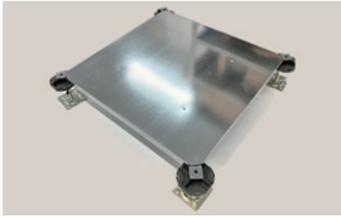


図1 ニチアスNOAフロア® M300A

構成：パーティクルボード+鋼板

内訳	項目	単位	合計	① 製造段階	② 建設段階	③ 使用段階	④ 廃棄 リサイクル 段階
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a		kg-CO ₂ eq	34	30	1.5	—	2.6
オゾン層破壊		g-CFC-11eq	3.9×10^{-3}	3.8×10^{-3}	3.9×10^{-7}	—	9.0×10^{-5}
富栄養化		g-PO ₄ ³⁻ eq	1.2	1.2	6.2×10^{-6}	—	3.4×10^{-3}
酸性化		g-SO ₂ eq	48	36	4.0	—	7.7
光化学オキシダント		g-C ₂ H ₄ eq	3.3×10^{-1}	3.1×10^{-1}	9.1×10^{-3}	—	1.3×10^{-2}



表2 ライフサイクル影響評価結果（ニチアスオメガフロア® M300A）

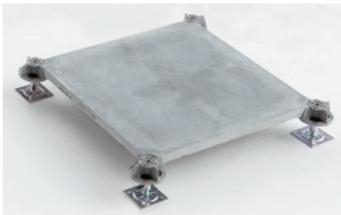


図2 ニチアスオメガフロア® M300A

構成：セメント+鉄筋

内訳	項目	単位	合計	① 製造段階	② 建設段階	③ 使用段階	④ 廃棄 リサイクル 段階
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a		kg-CO ₂ eq	38	26	9.7	—	1.8
オゾン層破壊		g-CFC-11eq	1.6×10^{-3}	1.5×10^{-3}	5.6×10^{-6}	—	6.3×10^{-5}
富栄養化		g-PO ₄ ³⁻ eq	1.0	1.0	2.0×10^{-4}	—	1.3×10^{-4}
酸性化		g-SO ₂ eq	37	24	5.7	—	6.5
光化学オキシダント		g-C ₂ H ₄ eq	2.0×10^{-1}	1.6×10^{-1}	2.6×10^{-2}	—	1.8×10^{-2}



表3 ライフサイクル影響評価結果（ニチアスパットフロア® M300A）

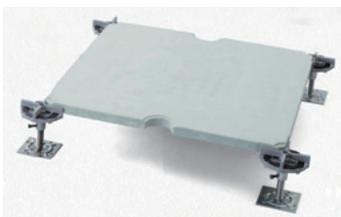


図3 ニチアスパットフロア® M300A

構成：セメント+鋼板

内訳	項目	単位	合計	① 製造段階	② 建設段階	③ 使用段階	④ 廃棄 リサイクル 段階
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a		kg-CO ₂ eq	35	32	1.3	—	1.8
オゾン層破壊		g-CFC-11eq	2.2×10^{-3}	2.2×10^{-3}	5.0×10^{-7}	—	6.2×10^{-5}
富栄養化		g-PO ₄ ³⁻ eq	7.9×10^{-1}	7.9×10^{-1}	7.1×10^{-6}	—	1.3×10^{-4}
酸性化		g-SO ₂ eq	33	23	3.2	—	6.5
光化学オキシダント		g-C ₂ H ₄ eq	2.6×10^{-1}	2.3×10^{-1}	7.3×10^{-4}	—	1.8×10^{-2}

*®が付されている名称はニチアス(株)の登録商標です。

「断つ・保つ」[®] で明るい未来へ

さまざまな地球環境負荷の低減が求められています。

私たちはいろいろなステージで、
安全で快適な暮らしを作り出す製品・サービスを提供します。
ニチアスは、そんな明るい未来の実現に貢献していきます。



1896年、断熱分野のパイオニアとしてスタートしたニチアスグループは、120余年の歴史のなかで、電力、ガスをはじめ、石油精製・石油化学、化学、造船、鉄鋼、自動車、建築などの基幹産業からエレクトロニクス、環境関連などの成長産業分野へと活動領域を広げてきました。ニチアスはこれからも「断つ・保つ」[®] の技術で、社会に貢献し続けてまいります。

